

# 採血容器追加のお知らせ

(管理番号:21-0061)  
2021年04月 C-06



謹啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。  
平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。  
このたび下記検査項目におきまして、採血容器を追加させていただきたく  
ご案内いたします。  
何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

## ■ 検査内容変更項目

## 寒冷凝集反応

	従来	追加
項目コード	443	
項目名	寒冷凝集反応	
容器	01 → 02 分離剤入り → 汎用容器 	03 分離剤なし 
検体量	全血 2 mL → 血清 0.5 mL	全血 3 mL
保存条件	冷蔵	室温

## ■ 留意事項

- ・ 遠心機をお持ちのご施設は、採血後、速やかに血清を分離してご提出下さい。  
血清分離までは、検体を37℃で保存するようにお願いします。
- ・ ご施設にて血清を分離できない場合は、容器03で採血を行い、20℃以上で保管し  
ご提出下さい。容器03にてご提出いただいた検体につきましては、当検査室にて  
37℃加温を行った後に遠心分離を行い、検査を実施いたします。

## ■ 備考

寒冷凝集素は採血後の血液を分離するまでに20℃以上で操作することが必要であり、  
20℃以下では自己の血球と結合し凝集素価が低下します。そのため、採血後直ちに  
血清分離した検体に比べ、分離していない検体では凝集素価が1～2管低下すること  
があります(社内データより)。

■ 変更日 2021(R3)年 6月 1日(火) 受付分より